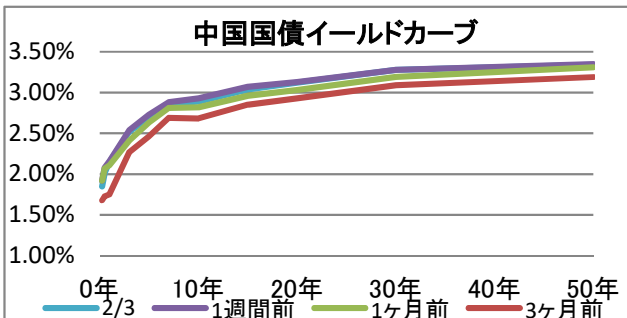
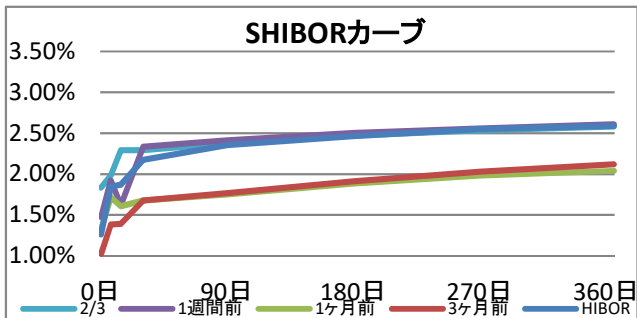


基準レート		2023/2/3	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7382	-0.0320
	JPY/CNY	5.2348	-0.0381
SHIBOR	3M	2.3570%	-0.0200%
国債利回り	10年	2.89%	-0.04%
上海総合指数		3,263.41	-1.40



(1) 概況

国際金融市場では、欧米金融当局が市場予想通りの利上げ後にハト派姿勢を示したと受けとられ、長期金利は低下に転じ、株価とドルは上昇していたが、金曜日に強めの米雇用統計等の経済指標が確認されるとリスクオフに転じている。

中国金融市場では、株式市場は春節期間中の消費や旅行需要回復から上昇して始まったが、春節前から積極的に資金を投じていた国外投資家等が経済回復見極め姿勢に転じたことや利益確定の動きから小幅下落で週末を迎えた。債券市場は、資金需給の落ち着きや内外利回り格差縮小を背景とする国外資金流入から小幅ながら利回り低下。為替市場では、米国利上げ懸念後退によるドル安を背景とする元高後に、欧州金融当局もハト派との認識からドル安が修正されると元高も一服。

中国では、春節期間中の消費回復が伝えられる中、習主席がコロナ措置解除後の景気回復に消費拡大が重要との認識を示し、李総理も消費回復支援に加え、対外開放策堅持と対外貿易の安定、実体経済に対する金融サービスレベルの向上、市場期待の安定化等が重要と強調し、劉鶴副総理は国有企業改革の中期目標達成との認識を示した。中国人民銀行は、易行長が国家級グリーン取引所の開設式典でグリーン金融の重要性を強調し、炭素排出削減支援等3項目の特別再貸出制度延長を決定するなど経済構造調整への金融支援スタンスを維持・強化し、証監会は、IPOの登録方式を大幅に拡大する規制緩和案や証券取引所における債券マーケットメーカー制度開始を公表し、商務部も今年重要な任務として、消費、対外貿易、外資利用の拡大等を掲げた。この間、米国によるHuaweiへの輸出禁止拡大検討や日米蘭による対中半導体装置の輸出規制合意報道に中国政府は強く反発するなど、中国偵察気球問題を含めて米中対立の更なる激化が懸念される。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、春節前に供給していたリバースオペ期日16,080億元に対して、リバースオペ8,880億元を実施し、ネットで7,200億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・ **国家統計局PMI (1月)** は、製造業50.1% (12月、47.0%)、非製造業54.4% (同、41.6%)、総合は52.9% (同、42.6%) と何れも4カ月ぶりに50%超となった。非製造業は、コロナ措置解除に伴う客数増や商業活動活発化等から大幅に回復したが、製造業は需要の弱さ、感染症や春節休暇の就業への影響等から50を若干上回る回復に止まった。
- ・ **財新PMI (1月)** は、製造業49.2 (12月、49.0)、サービス業が52.9 (同、48.0)、総合指数が51.1 (同、48.3) と、サービス業の大幅な回復に対して、製造業は生産や新規受注の回復緩慢から引き続き50を下回ったまま。
- ・ **工業企業利益 (1-12月)** は、前年比-4.0% (1-11月、同-3.6%) と減少幅を拡大。引き続き外資系企業や民営企業、製造業の減益幅が大きく、コロナ感染拡大や不動産市場低迷等による内需減少に加えて、工業出荷価格の低下が影響。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2620%	1.4500%	1.5000%	
1W	1.8500%	1.7500%	1.4000%	
2W	1.8680%	2.1000%	1.8500%	1.9500%
1M	2.1730%	2.0000%	6.5000%	2.1500%
3M	2.3570%	2.5000%	2.5500%	2.3400%
6M	2.4660%	2.8500%	2.5000%	2.4700%
9M	2.5490%	2.8500%		2.4850%
12M	2.5900%	3.0200%	2.8500%	2.5850%

中国人民銀行は春節連休前に大量に供給していた資金の回収を慎重に進めており、市場は安定している。ターム物は1ヶ月の2.4%前後での取引を除き、出合いは限定的。

NCDの金利水準も安定しており、ターム物は1ヶ月が2.1%台、3ヶ月2.35%前後、6ヶ月が2.4%台後半、1年が2.5%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金 (本工内)

	BID	OFFER
ON	4.53%	4.55%
1W	4.58%	4.60%
1M	4.65%	4.70%
3M	5.00%	5.05%
6M	5.15%	5.20%
12M	5.20%	5.30%

米FOMCでの利上げ幅縮小期待が高まり、FOMC後の会見等でもハト派姿勢が確認されたことを受け、ターム物でも外資や中国大手行のオファー確認できる状況となった。ターム物は、1ヶ月が4.6%台、3ヶ月は5.0%前後で取引されている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.85%		2.41%	2.45%	2.86%
6M	2.01%		2.52%	2.55%	2.96%
1Y	2.15%	2.16%	2.62%	2.71%	3.20%
3Y	2.52%	2.64%	2.83%	3.23%	3.91%
5Y	2.69%	2.82%	3.08%	3.51%	4.28%
10Y	2.89%	3.07%	3.39%	3.68%	4.51%

債券市場では、短期資金市場での資金需給の安定や欧米の金融政策見極め姿勢から小動きとなっていたが、世界的にインフレと金融当局のタカ派姿勢への懸念が後退したこと、債券利回りは小幅ながら低下する展開となった。米国では利上げペース減速期待が一段と高まり10年債利回りが低下したものの、金曜日に雇用統計等の経済指標が予想を上回る強めの内容となったことから3.5%台に戻しており、10年米国国債（3.52%、1/20比+4bp）の10年中国国債（2.89%、同-4bp）の利回り上回り幅は+63BP（同+8bp）と拡大に転じている。

イールドカーブは、春節明けかつ欧米金融政策見極め姿勢から小動きとなる中で総じて小幅に低下したものの、カーブ形状に変化はなく、クレジットスプレッドにも大きな変化は見られなかった。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-127.0 / -125.0
3M	-405.0 / -400.0
6M	-800.0 / -795.0
9M	-1155.0 / -1145.0
12M	-1455.0 / -1450.0

対ドル基準レートは6.7382と前週末比-320pipsのドル安元高、対円基準レートは5.2348と同-381pipsの円安元高と、市場での元高傾向を受けた設定となっている。中国国内市場では、欧米での金融政策会合を控えていたことから6.75を挟んだ小幅な値動きが続いたが、米FRBの姿勢がハト派的と受け止められてドル安となり6.70台まで元が買われたが、その後のECB等の姿勢もハト派的と受け止められドル安が一服するとドルの買い戻しから6.74台に戻して週末を迎えている。

先物は、欧米の金融政策見極め姿勢から総じて小動きとなったが、引き締め姿勢が軟化するとの期待から1年物は-1400台半ばに縮小している。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.05%		1.55%
6M	2.11%	2.45%	1.73%
9M	2.18%	2.51%	1.81%
1Y	2.25%	2.58%	1.94%
3Y	2.62%	2.95%	2.05%
5Y	2.85%	3.26%	
7Y	2.99%	3.43%	
10Y	3.13%	3.57%	

スワップ金利は、春節連休明けの債券市場での利回り低下を受けて小幅ながら総じて低下しており、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは概ね横ばい推移。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目論見書をよくお読みください。